

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 2 日 (2021.12.2)

【公開番号】特開 2020-174972 (P2020-174972A)

【公開日】令和 2 年 10 月 29 日 (2020.10.29)

【年通号数】公開・登録公報 2020-044

【出願番号】特願 2019-80378 (P2019-80378)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/1455 (2006.01)

A 6 1 B 5/11 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/1455

A 6 1 B 5/11 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 20 日 (2021.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験者のバイタルデータを取得するデータ取得部と、

前記データ取得部により取得したバイタルデータを記録する記録部と、

操作者の指示を検知する検知部と、

前記検知部により所定指示を検知した場合、前記所定指示のなされたタイミングで前記データ取得部により取得したバイタルデータと、前記所定指示された時刻を示す時刻情報とを紐づけて前記記録部に記録させる制御部と、

を備えることを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 2】

前記データ取得部は、前記バイタルデータとして血中酸素飽和度を取得することを特徴とする請求項 1 に記載の生体情報測定装置。

【請求項 3】

表示部を備え、

前記制御部は、前記検知部により前記所定指示を検知した場合、前記所定指示された時刻を前記表示部に表示させることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の生体情報測定装置。

【請求項 4】

前記制御部は、前記所定指示された時刻を前記表示部に強調表示させることを特徴とする請求項 3 に記載の生体情報測定装置。

【請求項 5】

音声情報を記録する音声記録部を備え、

前記制御部は、前記検知部により前記所定指示を検知した場合、生体情報測定装置の周囲の音声を、前記音声記録部に前記音声情報として記録させることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の生体情報測定装置。

【請求項 6】

前記音声情報を解析して、当該音声情報に含まれる単語を文字列化したテキスト情報を抽出する音声解析部をさらに備え、

前記制御部は、前記所定指示のなされたタイミングで前記データ取得部により取得したバイタルデータと、前記音声解析部により抽出した前記テキスト情報とを紐づけて前記記録部に記録させることを特徴とする請求項 5 に記載の生体情報測定装置。

【請求項 7】

前記検知部は、操作者が押下操作する操作スイッチを備え、

前記所定指示は、前記操作スイッチを所定時間以上継続して押下する長押し操作であることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の生体情報測定装置。

【請求項 8】

加速度の変化に基づいて被験者の動きを検知する加速度検知部を備え、

前記制御部は、前記データ取得部により取得したバイタルデータと、前記加速度検知部により検知した被験者の動きを示す加速度情報とを紐づけて前記記録部に記録させることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の生体情報測定装置。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の生体情報測定装置と通信可能な情報処理装置であって、

前記情報処理装置は、

前記生体情報測定装置から出力されたバイタルデータ及び時刻情報と、被験者の行動を時刻とともに記録した行動記録情報とを照合し、解析を行う解析部を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 10】

請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の生体情報測定装置と、

前記生体情報測定装置と通信可能な情報処理装置と、を備え、

前記情報処理装置は、

前記生体情報測定装置から出力されたバイタルデータ及び時刻情報と、被験者の行動を時間とともに記録した行動記録情報とを照合し、解析を行う解析部を備えることを特徴とする生体情報解析システム。

【請求項 11】

被験者のバイタルデータを取得するデータ取得部と、

前記データ取得部により取得したバイタルデータを記録する記録部と、

操作者の指示を検知する検知部と、を備えた生体情報測定装置と、

前記生体情報測定装置と通信可能な情報処理装置と、

を備えた生体情報解析システムによる生体情報解析方法であって、

前記検知部により所定指示を検知した場合、前記所定指示のなされたタイミングで前記データ取得部により取得したバイタルデータと、前記所定指示された時刻を示す時刻情報とを紐づけて前記記録部に記録させる記録工程を有する

ことを特徴とする生体情報解析方法。

【請求項 12】

前記生体情報測定装置から出力されたバイタルデータ及び時刻情報と、被験者の行動を時間とともに記録した行動記録情報とを照合し、解析を行う解析工程を有することを特徴とする請求項 11 に記載の生体情報解析方法。

【請求項 13】

被験者のバイタルデータを取得するデータ取得部と、

前記データ取得部により取得したバイタルデータを記録する記録部と、

操作者の指示を検知する検知部と、

を備えた生体情報測定装置のコンピューターを、

前記検知部により所定指示を検知した場合、前記所定指示のなされたタイミングで前記データ取得部により取得したバイタルデータと、前記所定指示された時刻を示す時刻情報とを紐づけて前記記録部に記録させる制御部として機能させるためのプログラム。

像撮影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するため、本発明の生体情報測定装置は、
被験者のバイタルデータを取得するデータ取得部と、
前記データ取得部により取得したバイタルデータを記録する記録部と、
操作者の指示を検知する検知部と、

前記検知部により所定指示を検知した場合、前記所定指示のなされたタイミングで前記データ取得部により取得したバイタルデータと、前記所定指示された時刻を示す時刻情報とを紐づけて前記記録部に記録させる制御部と、
を備えることを特徴とする。

また、本発明の情報処理装置は、

上記生体情報測定装置と通信可能な情報処理装置であって、
前記情報処理装置は、

前記生体情報測定装置から出力されたバイタルデータ及び時刻情報と、被験者の行動を時刻とともに記録した行動記録情報とを照合し、解析を行う解析部を備えることを特徴とする。